農　場　通　信

農業活動での汗を感動へ　～実習による成就感と達成感～

■全国造園デザインコンクール「文部科学大臣賞」受賞（造園緑地科）

最も指導力に優れた学校を賞する全国造園デザインコンクールで本校が文部科学大臣賞を受賞しました。全国３６高校２５４点・大学、専門学校、一般２０団体８８点の中からの受賞でした。また、上位１８人の入選者の中から次の生徒が特別賞を受賞しました。

受賞者　①３年造園緑地科　望月福太郎君
【日本造園建設業協会会長賞】
②３年造園緑地科　清水菜央さん
【全国農業高等学校長協会理事長賞】
その他、特別賞に３名が受賞しました。

■伝統のピーチネクター実習（食品科学科）

食品科学科では夏休みにピーチネクターの製造を行います。ピーチネクターは南アルプス市産の桃を使います。１・２年生全員が２日間で３６０kgの桃を加工します。３０年以上前から伝統的に行っています。桃の果汁は空気に触れると酸化され褐色に変化してしまいます。そこで、酸化を抑えるための酸化酵素の不活性化（食塩水・加熱）やビタミンＣによる酸化防止のノウハウは先輩たちのデータの積み重ねが生かされています。

今年度は瓶入りとスカウトパウチに入れた氷菓タイプのネクターも製造しました。また、本校のピーチネクターを原料にして、ピーチゼリーに加工され学校給食に出されています。

農林高等学校の生徒が作った天然の桃果汁でゼリーを作りました。地産地消の活動として、山梨県学校給食会と㈱ピアットの共同で開発しました。

■　玉川保育園との交流活動　（システム園芸科）

６月１６日（金）、システム園芸科の生徒と玉川保育園園児との交流を実施しました。

この交流は、システム園芸科の「生物活用」の授業として、実施しています。この日は、とうもろこしの種まきを行いました。年間４回の交流を実施する予定です。その他に、近隣の保育園や小学校の園児・児童が農林高校に見学や遠足に訪れています。

【農場のひとコマ】

農林高校のファームクラブというクラブ活動では、ポニーやミニブタ、ウサギ、ヤギなどの飼育をしています。８月２日、ウコッケイのヒナが生まれました。毎日、お母さんの後をついてすくすく大きくなっています。

■平板測量競技　最優秀賞受賞（環境土木科）

平板測量競技とは、３人１組になって測量するために決められた点の方向と距離を確認しながら現場で図面に書き入れ、測定した図面と距離のデータを基に面積を算出し、データの精度を競います。

８月１０日、農林高校環境土木科チームは県大会では最優秀となり、全国大会に駒を進めることになりました。全国でも入賞を目指して頑張ります。

■森林で林業講習を体験学習（森林科学科）

森林科学科は、将来森林を総合的に活用できるスペシャリストになることを目指して日々学習を行っています。２年生の夏休みに山梨県林業労働センター様の協力を得て、チェーンソーと刈り払い機の取り扱いを学び、免許を取得します。実際に木を倒したり、草を刈ったりする実習を企業の方から教えていただく中で林業を志す生徒も多くいます。丁寧な指導により安全でわかりやすい学習活動が行われています。

■わかば支援学校との交流活動（農業クラブ）

６月９日（金）農業クラブ活動によるわかば支援学校の生徒との田植え交流をしました。農業クラブ活動の一つとして、毎年実施しています。農業クラブ役員とわかば支援学校高等部生徒との第１回交流会となりました。田植え後は昼食を一緒にとり、楽しい交流会を行いました。秋にもわかば支援学校での交流会を予定しています。

■ふれあい市場　（５～１２月販売）

農場の東門には「ふれあい市場」があり、学校で作った新鮮な農産物を販売しています。自動販売機には１袋 100 円～200 円の農産物が売られています。今年も５月に開店し、地域の方から大好評を得ています。のぼり旗が立っている時が、開店の目印です。午前１０時～午後４時頃まで、自動販売機２台による販売をしています。

また、本館の正面玄関・い～なとうぶ竜王・い～なとうぶ昭和でも本校の農産物が売られています。皆さん、農林高校の農産物を購入して下さい。

■　今年度は農場の２大行事があります

●第６回山梨県産業教育フェア

１０月１３日（金）～１４日（土）：県防災新館

農業・工業・商業・家庭を学ぶ生徒の活動を紹介します。

農産物・食品加工品販売、学習成果発表、

北杜高校ギター部、甲府商業高校ソングリーダー部の発表他

●第５２回 収穫感謝祭

１１月１１日（土）：農林高校

農産物販売・生徒模擬店・学習成果発表・学校説明会他

※多くの方のお越しをお待ちしています。